

環境会計

当社は、事業活動における環境保全コストと効果を把握して公表しています。

集計の考え方

環境省「環境会計ガイドライン(2005年度版)」を参考に、2013年度の日本ペイント(単体)における環境保全コストを集計しました。

なお、環境保全コストのうち人件費および減価償却費にかかわるコストを含めず集計しています。

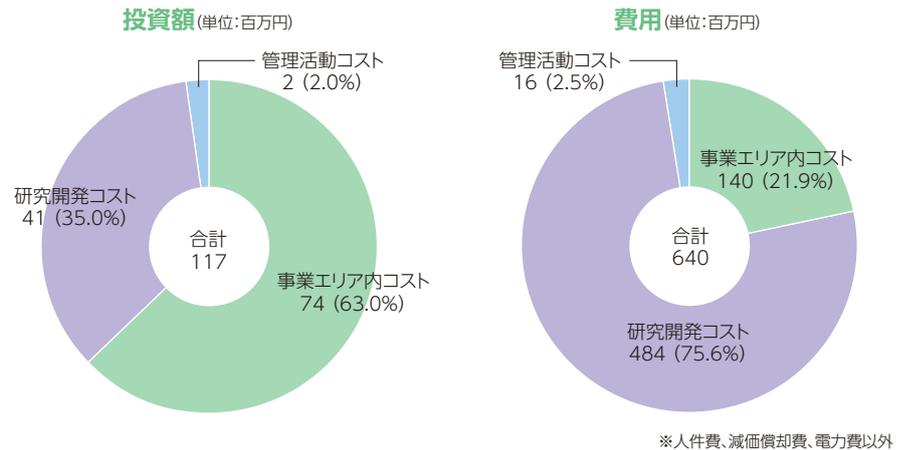
経済効果の算定につきましては、貨幣単位で把握できる「リサイクルによる収入」「省エネ活動による費用削減」「廃棄物減量化活動による処理費用の削減」などを経済効果として集計しています。仮定的計算によるみなし効果や社会的効果などは集計していません。

2013年度のまとめ

2013年度の環境保全コストの設備投資額は1億1,700万円で、うち4,100万円が公害防止関連の投資でした。主な内容としては大気汚染防止関連に2,800万円、悪臭防止関連に800万円などです。

経済効果のリサイクルにより得られた収入額4,300万円のうち、3,600万円が使用済み溶剤などの売却によるものでした。

環境保全コスト



環境保全効果(削減量)

項目	削減量*
硫黄酸化物[SOx]排出量(t)	-0.6
大気汚染物質	
窒素酸化物[NOx]排出量(t)	-1.1
ばいじん排出量(t)	-0.00
水質汚濁負荷量[COD](t)	0.3
エネルギー総使用量[熱量換算](GJ)	9,273
二酸化炭素[CO ₂]排出量(ton-CO ₂)	390
水使用量(千m ³)	-25
外部委託廃棄物排出総量(t)	675

※削減量は「2013年度-2012年度」で計算しました。

経済効果

項目	項経済効果
リサイクルにより得られた収入額	43
資源投入に伴う費用節減	12
環境負荷および廃棄物排出費用の節減	1
その他の費用の節減	0